

【事業者向け】令和元年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパンふくおか）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			
	②	職員の配置数は適切であるか	10			通常の活動は有資格者を含め6-7名を配置し療育にあたっている。外出企画は内容によって職員を増やす等、安全を優先に配慮している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4		機能性と安全性に配慮し取り組んでいる。 借家のため大掛かりな改修工事が難しく、不十分であることは承知しているので、出来る範囲で今後も継続して改善に努める
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1		支援員も積極的に参画。情報の共有と療育の質の向上に努めている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	10			職員対象に行った自己評価表を集計し検討した際、保護者のアンケート調査結果も踏まえて討議し、業務改善につなげている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			法人ホームページで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5	2	第三者による外部評価は行われていない。 ただ、療育に関し、外部の講師による検証と勉強会等で質の向上につなげている 又 設問に対する職員の回答を踏まえ、集計後の検討会で認識のすり合わせを行なった。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			指示による研修派遣の他、任意で希望する研修会参加を推奨している。又内部研修として、講師を招いての研修会や勉強会を実施する等、積極的に研修の機会を確保している
適切な 支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	7		契約時、標準化されたアセスメントツールを使用し、その時点での子どもの状態を把握。以降は活動の中でインホームなアセスメントで療育に当たっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			チームで行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	4		長期休暇や集団活動で工夫していきたい
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10			平日の療育についてはできている。長期休暇については、活動内容に応じた課題設定を職員間で共有し、支援につなげている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			作成している

【事業者向け】令和元年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパンふくおか）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			行なっている。同時に日頃の振り返り等、情報の共有に努めている
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	1	支援終了後、記録を取りながら振り返りが行われるが全員ではないため、翌日の支援開始前の打合せや会議等で共有している。都合で参加できない職員に対しての周知に努める
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			記録の様式を変更し、分かりやすく整理しやすい記録がとれるようにした
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			保護者との面談時や職員会議等で子どもの状況把握をして見直しの必要性を判断している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	10			ガイドラインの基本的姿勢を踏まえ、放課後及び長期休暇で、其々工夫しながら支援している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			参画している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10			基本的に保護者を通して行っている。送迎時のトラブル等緊急時は、直接学校に連絡して調整している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	10			医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、現在該当者はいないが、保護者を通して連携体制を検討する。又法人としても独自に、近隣の協力医療機関を定めている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	7		相談支援事業所を利用されていない場合、契約時に保護者からの聞き取りのみで、他機関との間で直接の情報共有はできていない。今後保護者の同意を得た上で、必要に応じて情報交換できるように努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	6	まだ卒業生をだしていないが、課題として検討していく 又、設問に対する職員の回答を踏まえ、集計後行った検討会で認識のすり合わせを行なった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10			必要に応じて助言や研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	1	放課後児童クラブや児童館との直接の交流は行っていないが、地域の子どもの交流を目的にお祭りを開催したところ、たくさんの小学生の参加があった。ただ個人参加のゲームが多かったため、課題も残った。今後も検討しながら継続して行く
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	6	3	招請があった時は参加している。今後も参加していく。又事業所内での情報共有に努める
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			持てるように努めている	

【事業者向け】令和元年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパンふくおか）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑳ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10			個別面談での聞き取りや日常での相談に、できる限り支援を行っている
保護者への説明責任等	㉑ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			契約時、運営規定や支援の内容、利用者負担について説明を行っている。又運営規定は事業所内に掲示している
	㉒ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			現在は個別面談や家庭連携支援等で相談に応じ必要な助言と支援を行っている
	㉓ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2		保護者会は一回開催したが、保護者同士の連携を支援しているか？という点で課題が残った。継続して在り方を検討していく
	㉔ 子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			面談時に周知している 苦情対応はマニュアルに沿って迅速に行っている
	㉕ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			毎月会報を発行し、情報を発信している
	㉖ 個人情報に十分注意しているか	10			個人情報の秘密保持に関し、必要な措置を講じている
	㉗ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			配慮している
	㉘ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10			事業所のイベントを開催した際、パンフレットの回覧や会場の提供等ご協力頂き、地域の方にも活動紹介をすることができた
非常時等の対応	㉙ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			周知している
	㉚ 非常災害発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			年間計画に沿って行っている
	㉛ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	2		法人の会議等で研修機会を確保している。設問に対する職員の回答を踏まえ、集計後行った検討会で認識のすり合わせを行なった。
	㉜ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			行なっている
	㉝ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			保護者を通じて対応している
	㉞ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	4		ヒヤリハット事例集を作成し、打合せ時や会議等で検証・共有に努めているが、事例集の作成が徹底されず口頭での共有も多い。継続して事例集の作成を周知していく